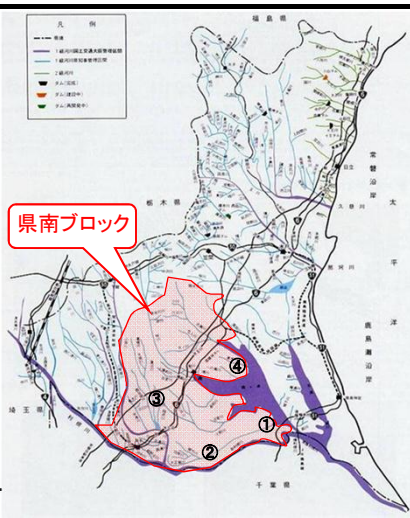




前号から、県内を五ブロック（県北・県央・県南・県西・鹿行）に分けて一ブロックずつ代表的な地震による被災箇所の復旧完了状況を紹介しております。

今回は県南ブロックの主な被災箇所四箇所を紹介いたします。県南ブロックの被災箇所では、被災規模が大きかった河川は新利根川です。新利根川では、堤防の基礎地盤の液化に伴う側方流動により、堤体の沈下や縦断亀裂、法面崩落などの被害が発生しました。新利根川の被災延長は六・七キロメートルで、今回は稲敷市上須田工区（①）と稲敷市柴崎工区（②）を紹介いたします。新利根川の復旧工事は順次完了してきており、五月末には全区間の工事が完了する予定です。

また、谷田川（つくば市水堀③）や菱木川（かすみがうら市柏崎④）などでも復旧工事が完了しております。



位置図



被災箇所  
(河川)新利根川  
L=150m

◎新利根川堤防の復旧（稲敷市上須田）

【復旧完了箇所①】



被災状況写真



法面消失

被災前写真



完成写真(本復旧完了)



応急復旧状況写真

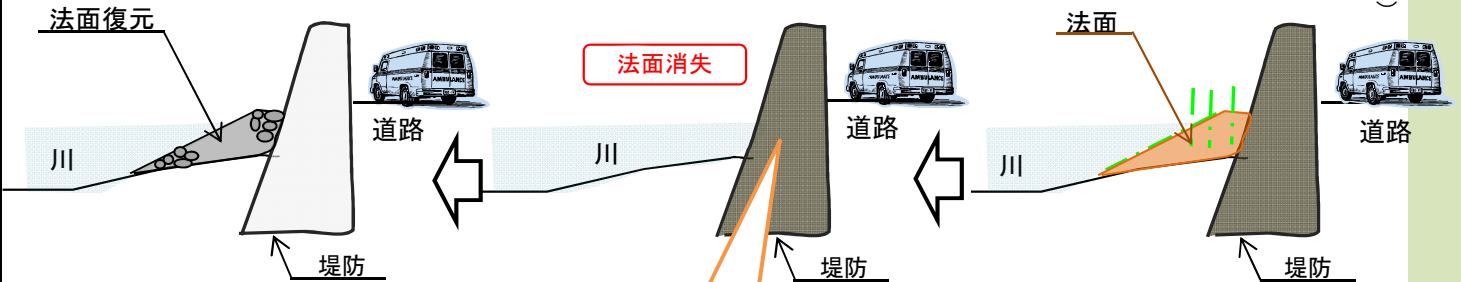


応急復旧後  
(大型土のう設置工)

法面復元

法面消失

法面



【液化化とは】  
液状化とは、飽和した砂質土の地盤が、地震などの振動を受けることによって液体のような泥水状態になってしまう現象です。砂質土は比較的良好な地盤ですが、ひとたび液状化が起きると軟弱な地盤となってしまいます。

今回取り上げました新利根川のほかに沼沼などで、液状化による被害が大きく、被害規模も大きなものとなりました。

法面がなくなり、堤防を抑える力が弱くなり堤防崩壊の恐れが生じてしまいました。

新利根川の被災区間の中でも特に、国道125号に隣接する上須田地区では、法面が消失し、堤防（パラペット形式）崩壊の恐れが生じてしまいました。大きな被災を受けた上須田地区（約150m区間）では、隣接する国道125号が緊急輸送道路であることから、被災後すぐに緊急の堤防崩壊防止対策として、大型土のうを設置しました。

その後、非出水期となった昨年十月頃より工事に着手し、被災箇所の盛土工事や護岸工事を行い、復旧工事を完成させました。

【復旧完了箇所②】

◎新利根川堤防の復旧（稲敷市柴崎）



完成写真



被災状況写真



位置図

被災箇所  
(河川)新利根川  
L=1.1km

堤防にひび割れが生じて  
しまい、コンクリート擁壁  
も波打ってしまいました。



復旧状況  
写真

芝を張り法面を保護

コンクリート擁壁を作るための  
型枠を設置している状況



完成写真



被災状況写真



位置図

被災箇所  
(河川)谷田川  
L=240m

堤防にひび  
割れが生じ  
てしまいま  
した。



復旧状況  
写真

ひび割れた部分の土を入  
れ替えています。

【復旧完了箇所③】

◎谷田川堤防の復旧（つくば市水堀）



完成写真



被災状況写真



位置図

被災箇所  
(河川)菱木川  
L=380m

堤防のアスファルト道路  
に段差が生じてしまいま  
した。  
この道路はかすみがうら  
市道でもあり、堤防の管  
理用通路も兼ねています。



復旧状況  
写真

アスファルト舗装をいった  
ん剥がして段差を直して  
から新しいアスファルト舗  
装を行いました。

【復旧完了箇所④】

◎菱木川堤防の復旧（かすみがうら市柏崎）

【河川かわら版】

発行 茨城県土木部河川課

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

TEL 029-301-4485

HPアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/>



茨城県

